

小松島市都市計画マスタープラン 地域別まちづくりワークショップ

地域の未来について考える

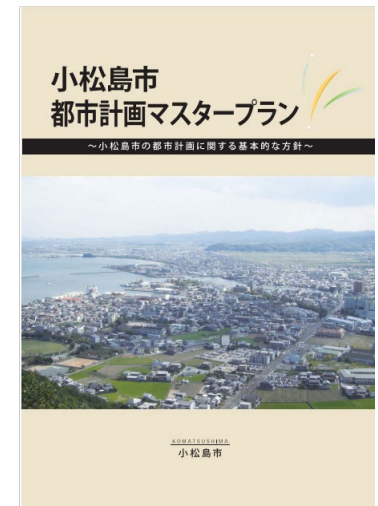


～小松島市都市計画マスタープランの見直しにおいて～



小松島市都市計画マスタープランとは

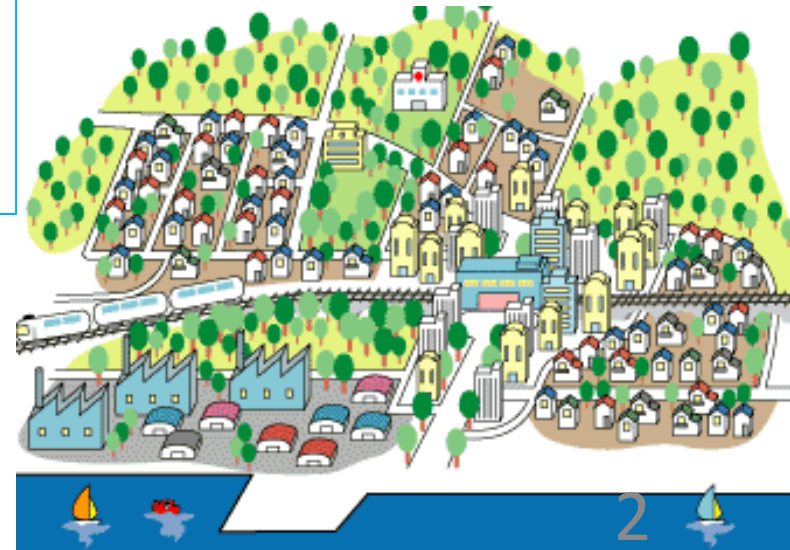
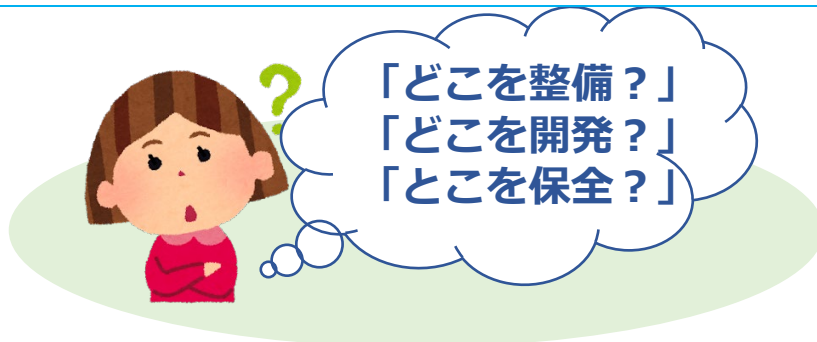
- 小松島市の特色を踏まえた**目指すべき将来像**と**その実現に向けたまちづくりの方向性**を示すもの
- 概ね**20年後の小松島市の将来像**を展望して策定
- 主に**土地利用**や**都市施設（道路、公園など）**の整備に関する基本方針を示すもの



小松島市都市計画マスタープラン
平成26年3月策定[基準年度 平成22年度]

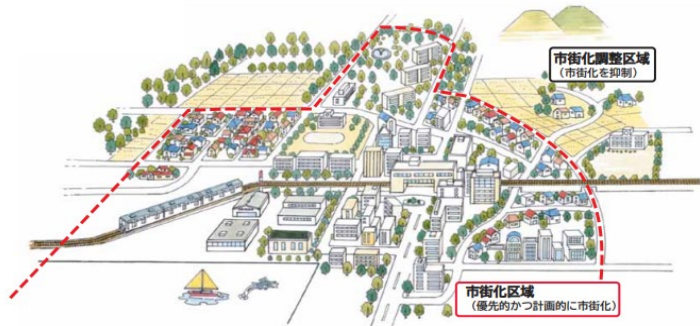
↓

現行の小松島市都市計画マスタープランの基準年度である平成22年度から約10年が経過し、人口減少や南海トラフ巨大地震への対応など社会情勢の変化に対応するため、**見直しが必要**。

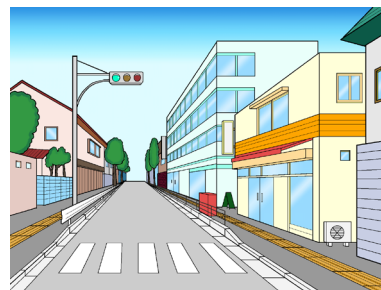


小松島市都市計画マスタープランとは

「小松島市都市計画マスタープラン」で方針を定める主な分野



土地利用



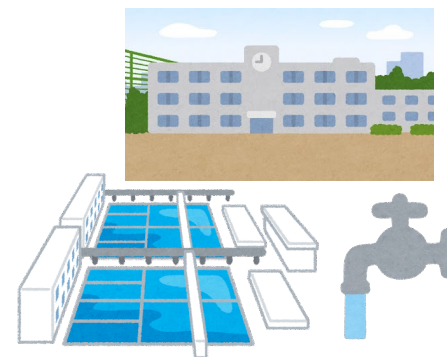
都市交通



公園・緑地



都市防災



その他の都市施設

小松島市都市計画マスタープランとは

「小松島市都市計画マスタープラン」の構成

第1章 小松島市の概況と課題

小松島市の概況を整理した上で、社会情勢の変化や将来展望を踏まえながら、まちづくりの課題を抽出します。

第2章 都市づくりの基本理念と目標

都市計画の基本理念を定めた上で、課題の解決に向けた都市づくりの目標を設定します。

- 1 都市づくりの基本理念
- 2 都市づくりの目標

第3章 全体構想

都市計画の基本理念および目標を踏まえて、それらを実現する将来都市構造を示します。
また、将来都市構造の実現に向けた分野ごとのまちづくりの方針を示します。

- 1 将来都市構造
 - 将来都市構造の考え方
 - 将来の都市構造
- 2 分野別のまちづくり方針
 - 土地利用の方針
 - 都市施設整備等の方針
 - 都市防災の方針
 - 都市景観の方針

第4章 地域別構想

市内を4つの地域に区分し、それぞれの地域の現況・特性等を整理するとともに、地域の課題を踏まえたまちづくりの目標、目標実現のためのまちづくりの方針を示します。



第5章 計画の推進に向けて

計画の推進に向けた取り組みや、計画の評価方法、推進体制について示します。



地域ごとに

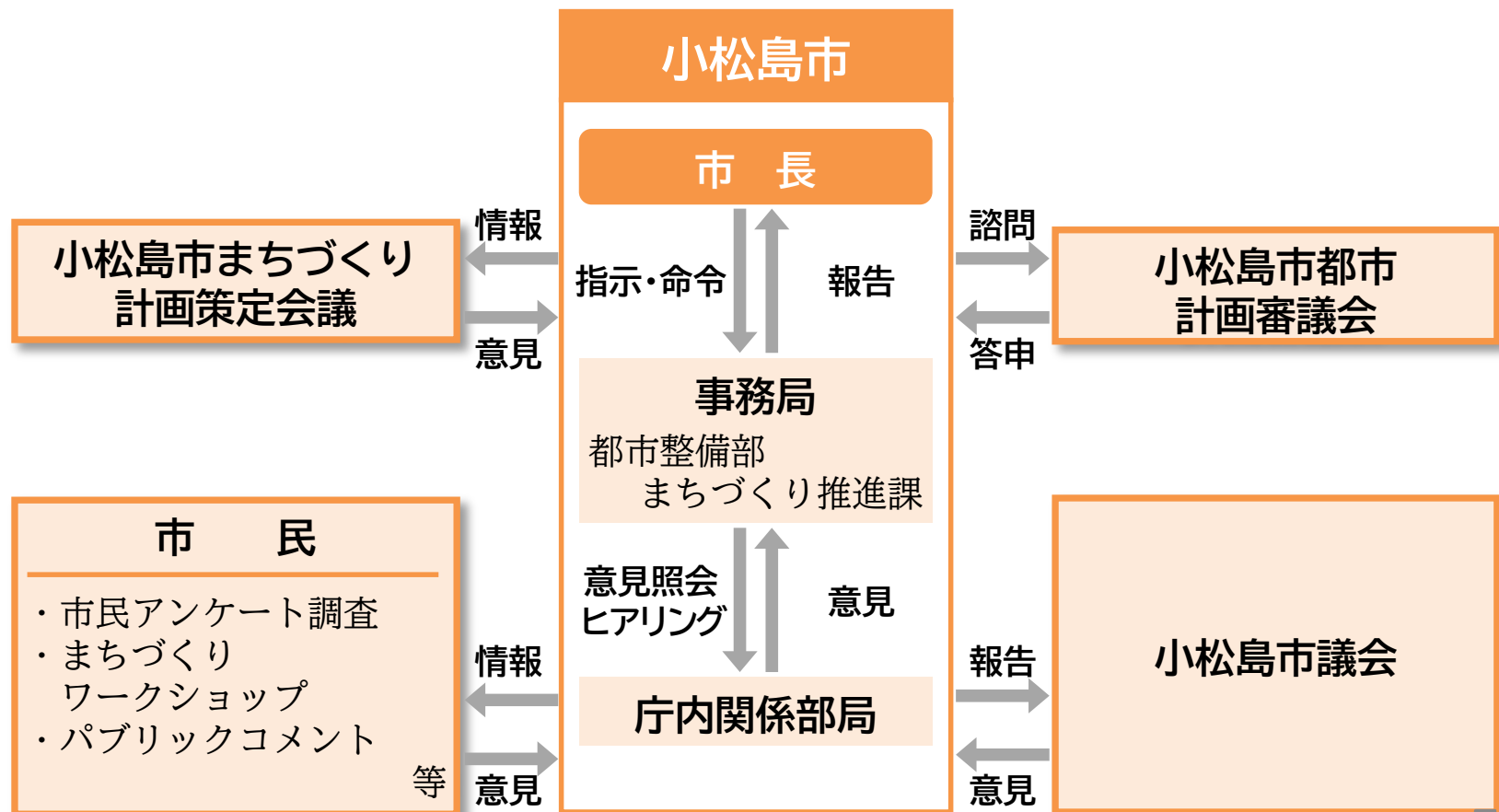
- ・ 良いところ、自慢 **「地域の資源・魅力」**
- ・ 改善したいところ、不満 **「地域の課題」**
- ・ 目指す地域の姿 **「地域の将来像」**

など、地域の皆様から様々なご意見をお聞きし、そのご意見を参考として、小松島市都市計画マスタープランの見直しを行います。

小松島市都市計画マスタープランの策定体制

「小松島市都市計画マスタープラン」はどのように作成されるか

市民の皆様へのアンケート調査の結果（令和2年実施）やまちづくりワークショップ（本ワークショップ）など、市民の皆様のご意見を取り入れながら策定を進めていきます。



小松島市都市計画マスタープラン見直しへの市民の皆様の参加

市民の皆様のご意見はどのように集められているか

以下の3つの方法などより、市民の皆様のご意見をお聞きします。



市民アンケート調査
の結果分析

計画素案
パブリックコメント

地域別の
ワークショップ

本日の
ワークショップ

まちづくりワークショップの目的

ワークショップとは

- 参加者が「意見」や「アイデア」を出し合いながら、物事を作り上げていき、方向性等を打ち出したり、合意を図る場となります。



- ◆ 何かについて、アイデアを出し合う集まりで会議の一種です。
- ◆ 参加者の創造行為と合意形成に焦点を置いています。
- ◆ 誰もが自由に意見を言いやすいよう、大きい用紙、ふせん紙等の小道具を使います。
- ◆ 形式ばっていない特徴があります。

まちづくりワークショップの目的

- 自由な発想で「将来の地域づくり」を考え、計画に反映します。

“将来の地域づくりを考える”とは

- ◆ 地域の良いところ・自慢できるところ「地域の資源・魅力」を活か
せると、もっといいまちになる。
- ◆ 地域の良くないところ・不便に感じること「地域の課題」が変わる
ともっと好きになる。
- ◆ 地域が将来こんなふうになってほしい・こんなものがあるといい等
の「地域の将来像」これからのまちづくりに期待すること。

このような「地域の将来に対する思い」を考えること

まちづくりワークショップの進め方

話し合いのルール

●皆様の自由なご意見をお聞きする場です。意見に正解・不正解はないので、多くのご意見を出し合っていたいただきたいと思います。

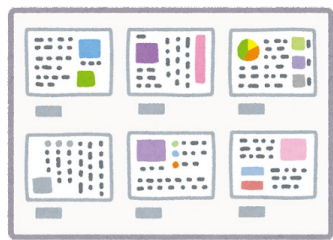
- ◆ 立場を気にせず、自由に発言しましょう。
- ◆ 人の意見を認め、耳を傾けましょう。（発言には拍手を）
- ◆ 地域・自分たちでできることについても考えてみましょう。
- ◆ 出た意見への相乗り・同意も大歓迎。
（出た意見だからと自分の意見を引っ込める必要はありません。）
- ◆ 時間を守りながら話し合いましょう。



まちづくりワークショップの進め方

意見の出し方・話し合い・発表

- ① 配布資料（地域の概況や現行の都市計画マスタープラン）を参考に、自分たちの地域の状況・傾向を把握します。
- ② 地域の「資源・課題・将来像」について考え、ふせん紙に記入します。【15分】（資源は緑のふせん紙、課題はピンクのふせん紙、将来像は青のふせん紙）
- ③ 一人ずつ意見を口に出しながら、模造紙にご意見を書いたふせん紙を貼り付けていき、グループの意見を整理します。【30分】
- ④ 代表者一名を決め、簡単に意見を発表します。【それぞれ5分】



①参考までに地域の概況資料や現行の小松島市都市計画マスタープランを確認し、傾向を把握します。

②地域の具体的な「資源・課題・将来像」を検討しふせん紙に記入します。

③模造紙にふせん紙を張り付け意見をまとめます。

④グループの代表者一名を決め代表的な意見を簡単に発表します。

まちづくりワークショップワークショップの進め方

検討のヒント

